

平成 1 9 年度の科学技術に関する 資源配分方針の策定に向けて

平成 1 8 年 4 月 2 5 日

総 合 科 学 技 術 会 議
有 識 者 議 員

1 基本姿勢

○18年度より**第3期基本計画が始動**

- ・若手研究者の自立支援策であるテニユア・トラック制の導入
 - ・女性研究者の活躍を支援するモデル事業
 - ・先端融合領域イノベーション創出拠点形成
 - ・地域の知の拠点再生プログラム
- など、**新たな取組に着手**

○19年度予算で、**第3期基本計画を本格実行**

- 「**選択と集中**」を徹底し、特に優先すべき重点課題を厳選して明示
- 関係府省の科学技術関係予算の比重を高めるなど、総合科学技術会議のイニシアティブの下、**政府全体での取組を強化**



「明日への投資」である科学技術関係予算を拡充
「25兆円」に込められた国民の期待に応える

2 平成19年度の主な改革の方向性

○世界最高水準の本格的な研究拠点創り開始

＜次回本会議で検討結果を報告＞

- 世界から第一級の人材が集う**世界トップクラスの研究拠点**(30拠点程度)の創出を目指す
- 斬新な制度改革**を併せて実施
 - ・業績連動年俸制を導入
 - ・競争的研究資金からの人件費の支給
 - ・外部資金の積極的導入の促進
 - ・エフォート管理を実施
 - ・優れた外国人研究者や留学生を呼び込む環境を整備
 - ・女性研究者の活躍促進 等

2 平成19年度の主な改革の方向性

○国際競争を勝ち抜く人材立国の実現

- 従来の横並び・平等主義を廃し、**優れた研究を行う者が報われる仕組み**について、競争的研究資金も活用しつつ検討
- 小・中・高等学校等における理数教育の充実

○国際的に通用する競争的で魅力ある研究環境の醸成

- 競争的研究資金の間接経費30%確保、**研究費制度間の連携等により優れた研究を継続可能な仕組み**の構築
- 大学施設の老朽化・耐震対策を着実に実施

2 平成19年度の主な改革の方向性

○政策課題対応型研究開発(8分野)の戦略的重点化

➤分野別推進戦略に沿い、厳選した「戦略重点科学技術」へ優先的資源配分

- ・62の戦略重点科学技術毎に活きた戦略を府省横断的に実現するシステム構築
- ・国家基幹技術については厳正な評価を実施

○国際競争力を高めるイノベーション創出能力の抜本的強化

＜次回本会議で検討結果を報告＞

- #### ➤本年度より、先端融合領域イノベーション創出拠点整備を開始
- #### ➤優れた人材の結集・組織化、研究費制度間の連携、政府の出口政策の強化等の抜本的方策について、予算・人材・税制・規制等あらゆる観点から検討し、イノベーション創出能力の強化を加速

2 平成19年度の主な改革の方向性

○国民への説明責任の徹底

- 研究開発目標、成果目標の達成状況を定期的にフォローし、結果を公表
- 関係府省毎に第2期基本計画中の研究開発投資成果について、失敗事例も含め、定量的指標も用いて国民に向けて分かりやすくとりまとめ、公表
- 科学技術に対する国民の関心を高めるための国民運動を展開

✓ 今後の予定

- 5月に世界最高水準の研究拠点創りやイノベーション創出などについて検討結果を報告
- 6月に資源配分方針を決定し、意見具申